

としょかん宇治

No. 27

1992年7月1日発行

宇治市中央図書館

宇治市文化センター内

〒611

宇治市折居台1丁目1番地

電話 (0) 1511



東宇治コミュニティセンター（仮称）完成予想図

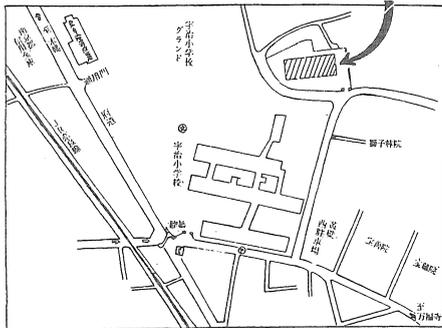
この秋、いよいよ図書館の分館が東宇治地域にオープンします。黄檗駅から歩いて十分。黄檗山万福寺の近く、宇治小の北に建設中の東宇治コミュニティセンター（仮称）の一階が分館です。

この秋分館ができます

この秋、いよいよ図書館の分館が東宇治地域にオープンします。黄檗駅から歩いて十分。黄檗山万福寺の近く、宇治小の北に建設中の東宇治コミュニティセンター（仮称）の一階が分館です。

建物の完成は十月末。分館のオープンは十一月の予定で準備をすすめています。分館は市の第三次総合計画のもと、中央館を日常的に利用しにくい東宇治地域の人々に本や情報を提供し、身近な気軽に利用できる施設として設置するもので、東宇治地域の図書館サービスの拠点としての役割を果たしていくこととなります。分館の面積は約三百十平方メートル。成人用の読み物、実用書、児童書を中心に簡単な調べものに役立つ百科事典、年鑑、図鑑等を揃え、蔵書冊数二万冊。他に雑誌、新聞、カセットブックを揃え、スタートする予定です。分館の設置により、宇治市の図書館サービスは中央館、分館、移動図書館の三つのポイントによるサービスになります。どのポイントでも同じように利用できるような次のようなことを計画しています。中央館と分館をコンピュータオンラインで結び、一枚の貸出券でどのポイントからも貸出・返却ができること。また、全図書館の蔵書が中央

仮称、東宇治分館
(コミュニティセンター1階)



館と分館で検索でき、必要な図書にはどの館からも予約がかけられ、他の館にある本は取り寄せて、全図書館の蔵書を中央館・分館の区別なく利用することができること。蔵書の検索には中央館、分館とも利用者開放端末機を設置し、利用者自ら検索することができることなどです。分館はスペースの関係上、専門書等の常置は無理ですが、中央館の本を利用することにより蔵書の枠を拡げることができます。中央館を中心とした図書館サービス網の一端をにない、地域の人々の読書要望を反映した蔵書の充実を図りながら気軽に気やすく利用できる分館をめざしていきたいと考えています。

貸出冊数

平成3年度
図書館利用統計



■ 1年間の総貸出冊

544,899冊

■ 移動図書館の貸出冊数

65,044冊

■ 中央図書館の貸出冊数

479,855冊

■ 中央図書館開館からの
累計貸出冊数(59年度以降)

3,624,301冊

ベストリーダー

蔵書冊数



137,494冊



図書館指標

文 学 (小説・エッセイ)			利用回数
1	ノルウェイの森 上	村上春樹	128
2	キッチン	吉本ばなな	125
3	ノルウェイの森 下	村上春樹	122
4	TUGUMI つぐみ	吉本ばなな	107
文 学 以 外			
1	宇治の文化と歴史	宇治市歴史	40
2	風はいずこより	三浦綾子	33
3	愛される理由	二谷友理恵	33
4	落語的学問のすすめ	桂 文 珍	33
児 童 書			
1	バーバベルのレースあみ	アネット・チゾン	291
2	バーバベルのプレゼント	アネット・チゾン	265
3	バーバベルのしんじゅとり	アネット・チゾン	253
4	ノントンぶらんこのせて	大友康匠	213

- ◎ 市民一人当たりの貸出 3.0冊 (平成4年4月1日 人口 180,497人)
- ◎ 登録者1人当たりの貸出冊数 9.3冊 (平成3年度図書購入費 22,745,158円)
- ◎ 市民一人当たりの図書購入費 126円 (平成3年度受入冊数 15,569冊)
- ◎ 市民100人当たりの年間受入冊数 8.6冊 (平成4年3月30日登録者数 58,508人)
- ◎ 登録率 = $\frac{\text{登録者数}}{\text{人 口}} \times 100$ 32.4%

* 登録者数とは、平成3年度中に1冊以上貸出を受けた実質登録者数です。

図書館へようこそ

利用者インタビュー

第15回

今回は「おはなしの良さを伝えるのが楽しくて」と、月一回自宅を開放して、ストーリーテリングの勉強をされている、神明宮北にお住まいの大西雅子さんにお話を伺いました。



☆いつ頃から利用されていますか。
宇治に引っ越してきてからですから、五年目になります。一カ月に、二・三回というところでしょうが。
☆どんな本をよく読まれますか。
自然や芸術についてのエッセイが特に好きですね。それに紀行に関する本もよく読みます。

☆その中で、感銘を受けた本があれば、紹介してください。

そうですね。以前読んだものは、犬養道子の「人間の大地」がよかったですよ。九年前に、すでに今のような地球的規模での環境問題を、とりあげたノン・フィクションで、戦争孤児や難民からのインタビューなど現地からのルポは迫力がありました。最近では山崎章郎の「病気で死ぬということ」ですね。この本を読んで、健康な人間でもどう生きるか、ということを考えさせられました。

☆図書館について、要望がありましたらどうぞ。

職員の方も親切で、よくやっていただいておりますね。しいてあげれば大きな講演会でなくてもいいから、講座がもっとあるといいと思います。それから予約・リクエストの連絡は、留守がちということもあり、葉書でもくださるとありがたいですね。

☆今後の抱負などについて…

老人ホームや小児病棟へ出かけて行っても、寝たきりの人達にはおはなしを聞いてもらえなくて残念なのですが、これからはそういう方にも聞いていただけるように思っています。
☆どうもありがとうございました。

図書館見学記

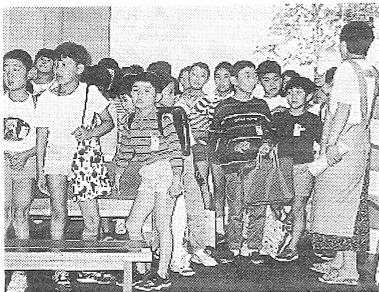
市内の小学校では、三年生の社会科副読本に今年から図書館が取り上げられており、多くの児童が学校から訪れています。

職員の説明と案内の後、貸出券を使っての体験学習ですが、皆さん事前に下調べがしてあるのか、熱心な質問が続きました。また、たくさんの方の礼状や学級通信を後日いただきましたが、引率の先生方ははじめ児童の皆さん、どうもありがとうございました。お目当ての本との出会いで楽しい一時もっていただきましたか。

見学後の子供達の感想はさまざまでしたが、どれも新鮮で図書館にとっても勉強になります。遠いところご苦労さまでした。

折々

NEWS



図書館協議会二号委員が交代

図書館協議会の社会教育関係団体から出ていただいていた委員(二号委員)のうち、連合育友会の役員交代にともない、福山一男氏に代わり竹中武彦氏が新委員として就任されました。任期は来年五月までの一年間です。

南京信平田佐吉財団から二百万円寄付

例年、青少年の育成にと寄付をいただいている南京信平田佐吉財団から、今年も二百万円をいただきました。ありがとうございます。これで昭和六十三年から五年間で、総額八百万円になります。図書館ではこの寄付金を「外国の絵本コーナー」の設置や、児童書購入に活用させていただきましたが、今年も外国絵本の追加購入、および自動車文庫や分館の児童書購入に使わせていただく予定です。

郷土のはなし

鉄眼版一切経

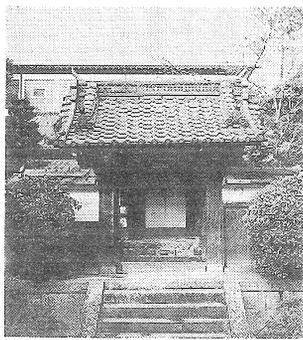
万福寺の西北に宝蔵院というお寺があり、そこには「鉄眼版一切経版木」が残されています。一切経というのは、仏教の教えを記した教典で、別に大蔵経とも呼ばれています。

この版木を作ったのは黄檗宗の僧鉄眼道光です。鉄眼は寛永七年(一六三〇)肥後国(熊本県)で生まれました。十三歳のとき出家し、明暦元年(一六五五)来日した隠元と長崎の興福寺で会い、これを機会に隠元の門に入って、隠元の弟子木庵を先生として仰ぎました。黄檗宗に入った鉄眼は一切経の少ないのを嘆き、寛文八年(一六六八)に一切経の出版を志します。そのため、日本各地で講演旅行を行い資金集めに奔走します。また隠元は万福寺境内に版木を保管する場所として寺地を提供し、中国明版の一切経を底本に使用するよう指導いたしました。

こうした多くの人々の支援で、寛文九年、京都木屋町二条に印刷所を設け、一切経を彫り始めまし

た。そして十年後の延宝六年(一六七八)に、この一切経は完成します。早速印刷が始められ、七月十七日に後水尾天皇に一部贈られました。天和二年(一六八二)までに約四百部が印刷され、各地寺院に配布されました。

鉄眼は天和二年、五十二歳でこの世を去りますが、一切経の出版によって、仏教の研究に大きく寄与しました。さらに、底本に明版を使用したことによって、明朝風の書体をとり入れたことになりました。現在の活字の書体の一つに「明朝体」がありますが、この書体の基礎になっているのが、この鉄眼版一切経です。



宝蔵院は、今秋開館する図書館分館のすぐ近くです。来館されたおり、この一切経の版木を見学されれば、鉄眼の苦勞が偲ばれ、また印刷技術の向上が、今に伝わってくることでしょう。

本をかりるには

一 利用案内

- 市内にお住まいの方、市内に通勤通学されている方ならどなたでも1人5冊、かりられます。
- 貸出券は、中央図書館・移動図書館の共通券です。

中央図書館

- 貸出期間は、3週間です。
- 開館時間は、9時～17時です。
- 休館日は、毎週月曜日・毎月末日 国民の祝日・年末年始 土曜・日曜もあいています。

移動図書館〔そよかぜ号〕

- 月に市内25カ所を巡回しています。
- 日時・場所は、毎月1日号の市政だより「そよかぜ号」巡回日程をご覧ください。
- 次回巡回日に返却して下さい。

(中央図書館の場所)



JR 宇治 京阪宇治 または 近鉄大久保から 「太陽が丘」 行バス乗車 「折居台口」 バス停 下車すぐ

予約・リクエストもできます。



編集後記

◆ この秋には、東宇治に分館が誕生します。鋭意準備を進めているところですが、よりきめ細かいサービスができるよう、と考えています。

◆ 今号では、一年間の利用統計をとりあげてみました。カウンターでは、このような各種指標をよくたずねられますが、図書館を身近に感じていただいているからではないでしょうか。